

様式第4号（第5関係）

活動結果報告書

令和 4年 4月 11日

越前市議会

議長 川崎 俊之 殿

議員氏名 砂田 竜一



下記のとおり報告します。

日 程 令和 4年 3月 27日（日曜日）～令和 年 月 日（ ）

活動先

活動目的 議会の活動内容を市民の方へ報告するため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 （不足のときは、補助用紙を用いる。）

すなだ竜一 市議会だより 2022年3月号

印刷業者 三好印刷

支払金額 527,576円

配布先 市内各所

配布枚数 25,115部

たより内容 別紙のとおり

すなだ竜

市議会だより

2022年
3月



TEL.090-2377-3396 E-mail:sunaryu2000@gmail.com

越前市 2021年市政トピックス

北陸新幹線「越前たけふ駅」周辺のまちづくり

2024年春に開業を迎える北陸新幹線敦賀延伸に伴い、越前市にできる新駅「越前たけふ駅」周辺の開発が進められています。2021年8月に駅周辺の開発のため、周辺地区のまちづくり協議会と戸田建設と越前市が基本協定を締結しました。今後、駅周辺の地域の方や地権者の方に意向を伺いながら駅周辺開発の計画が組み立てられていきます。更なる市政発展のためにも、今後の駅周辺まちづくりに注目していきます。

進出企業候補との協議

地権者、地元関係団体等との協議

- 10/16(大塚町)、23(庄田町)、24(岩内町、葛岡町、庄町)
- 町内説明会 【説明内容】 事業の概要、今後の進め方について
- 11/11
- まちづくり協議会役員会 町内説明会の意見報告、他

11/11(金) 地権者戸別訪問
市・戸田建設で、全地権者への戸別訪問を実施(175名)
訪問目的 事業説明、土地利用意向等の伺い、など
土地利用計画の検討のために一般公開する。
10の団体(市2名、戸田建設1名)
※ 臨時、地権者、地元、まちづくり協議会等に、進捗等の説明を実施

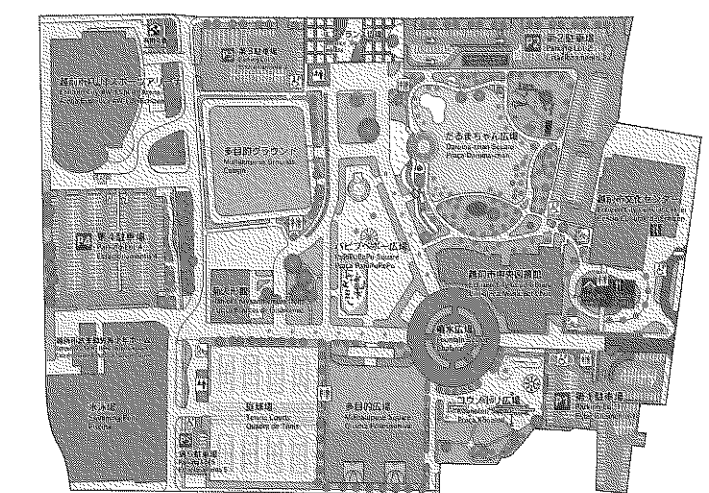
進出企業からの開発計画が提示された段階で、具体的な用地交渉を行う予定

武生中央公園 大型遊具老朽化対策 による魅力向上事業

大型遊具の一部更新とコウノトリ広場の空間整備のバランスを保ちながら安全・安心な遊び場、休憩施設等を整備し、武生中央公園の回遊性をさらに高め、公園の魅力向上を図る事業です。幅広い年齢層の皆さまの憩いの場になり、人が集まる魅力の場所になる事を期待します。

【今後の予定】

- 令和4年7月頃 シンボル遊具、バイキング、日よけ施設等整備
- 9月頃 モノレール、メリーゴーランド、新規大型遊具等整備



西校区公立認定こども園建設

武生西小学校区にある公立の上太田保育園、なかよし保育園、武生西幼稚園は老朽化が進んでいることもあり、西幼稚園を取り壊し、跡地に3園を集約したこども園1園が作られます。整備にあたっては、ニーズへの対応及び市全体の就学前教育・保育の向上を地域とともに推進し、公私立園をけん引する拠点となる公立認定こども園を目指す予定です。本市の子育て支援機能のさらなる充実に期待します。

外観イメージパース (南面)



2021年 市議会の取り組み

議会基本条例の検証と改正

議会基本条例は、地方議会運営の基本原則を定めた条例であり、現在、全国の自治体のおよそ半分が議会基本条例を制定しており、新たな議会の在り方、運営のルールなどを条例の形で住民に示し、議会、議員の活動の指針となるものです。越前市議会基本条例は、制定されてから10年が経過し、時代にそぐわない部分、改正が必要な部分などが見えてくるようになりました。このため、本市議会は議会活性化特別委員会を設置し、議会基本条例の改正を行いました。

1) 市総合計画の基本構想を議決対象に



市町村は議会の議決を経たうえで基本構想を策定する義務がありましたが、平成23年の地方自治法改正により、越前市議会は、議会基本条例に

総合計画の基本構想を議決すべき案件として位置付けませんでした。しかし、総合計画の基本構想は市の進むべき方向を導く重要なものです。その時の首長の想いや考えで変わるべきものではなく、議会での議決を経る必要があるのではないかとの意見もあり、議論を重ねた結果、今回新たに基本構想の策定等を議決対象とする内容に改正しました。(令和3年度6月議会)

2) オンライン委員会の開催が可能に

2019年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、議会や議員活動にも制限がかかる事態となりました。そのため、実際に会議室に参集できなくても、議論を行えるオンラインを利用した会議開催の可能性について総務省よりの通知や先進市議会の状況を

参考に調査・研究を行いました。本会議は法令上、オンラインでの開催は出来ませんが、委員会については、本会議の予備的審査であり、



条例で設置を定めていることから、オンラインによる委員会開催は差し支えないとされているため、毎月議論を重ね、越前市議会ではオンライン委員会が開催できるように条例の改正を行いました。オンラインでの委員会の開催は今回の感染症に限らず、自然災害などの緊急事態等により議員活動に制限がかかるような場合であっても、議論するという議会の重要な役割を果たす必要があります。(令和3年度6月議会)

市民と議会との語る会を開催



越前市議会では、越前市議会基本条例の趣旨に基づき、市民に開かれた議会の実現を目指し、毎年「市民と議会との語る会」を開催

しています。今年度も新型コロナウイルス感染対策をとりながら開催し、議会報告および小グループに分かれての意見交換を行いました。越前市議会では、語る会でのご意見を基に、今後の議会活動に生かしてまいります。

- 10月27日(水) 大虫・吉野…大虫公民館
- 10月28日(木) 服間・岡本・南中山…服間公民館
- 11月4日(木) 南・東・西…武生南公民館
- 11月10日(水) 王子保・国高・北日野…王子保公民館
- 11月11日(木) 坂口・神山・白山…坂口公民館
- 11月17日(水) 味真野・北新庄・粟田部…味真野公民館

すなだ竜 一般質問

◆3月議会

「障がい児童生徒の教育体制を拡充せよ」

問 本市学校において、障がいのある子どもの多様性を尊重し、保護者や子ども自身が安心できる配慮を今後もしっかり行うよう要望するが、市教育委員会の考えは。

答 障がいのある子どもについて、その多様性を尊重し、インクルーシブ教育の理念を踏まえ、本人や保護者と合意形成を図りながら、一人一人の教育的ニーズに応じた支援や指導に取り組んでいく。

他の質問項目 ・公立認定こども園整備方針について

◆6月議会

「今後の感染症対策について市長の考えを示せ」

問 新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、今後の対策について市長の考えは。

答 対策本部を通じ様々な取り組みを迅速に行ってきた。市民の安全確保にはワクチン接種が非常に重要な手段であるため、迅速に接種が進むよう医師会の協力のもと対策を強化している。あわせてサービス業支援や地域コミュニティの維持活性化に努め、コロナ終息後、市民が元の安全安心な生活に戻れるよう対策をさらに進めていきたい。

他の質問項目 ・新型コロナウイルス感染時の情報提供について

◆9月議会

「越前たけふ駅周辺開発の今後の進め方を示せ」

問 北陸新幹線「越前たけふ駅」周辺開発について、さまざまな課題や難題にどう立ち向かい進めていくのか市長の考えは。

答 パートナー企業は戸田建設㈱に決定し、進出企業候補として電池メーカーA P B㈱の名が挙がっており、大変大きな前進を図る事が出来た。残る課題は地権者の皆さまの理解であり、戸田建設㈱と一緒に説明する中で、共感をいただき協力を求めている。

他の質問項目 ・保育園の支援について

主な経歴「砂田竜一」

- ・越前市議会議員(1期目)
 - ・総務常任委員会
 - ・議会活性化特別委員会(副委員長)
 - ・南越消防組合議会議員
 - ・公立丹南病院組合議会議員
 - ・F-TOP21(福井総合政策フォーラム21)議員団
- 1976年(昭和51年)9月5日生まれ(旧武生市府中1丁目)

